

最新TOPIX:カンブリア宮殿への露出



最新TOPIX:SDGs Week

TBSテレビのSDGs Weekにも協賛企業として出展。

※BS-TBSのFuture Earth/トレンドクリップなどにも露出予定

次回

三度おいしいSDGs ニッポンの水田が世界を救う？

BS-TBS 2023年11月6日（月）放送

近年、世界で急拡大する“カーボンクレジット”市場。どこか遠い話…と思いきや、いま日本人にとってはお馴染みの「田んぼ」が注目されています。ある方法によって温室効果ガスを削減できるとして、今年クレジットの売上が承認されたのです。農家にとっては副収入になる上、地球に優しく、食べても美味しい！まさにおいしい尽くしの取り組みを追いましました。



地球を
笑顔にする
WEEK

TBS系 SDGsプロジェクト

私たちはSDGsに取り組んでいます

BS-TBS

TBS

TBS RADIO



最新TOPIX

日本初：第1号案件プロジェクトとして認証を取得

農業従事者のカーボンニュートラル（CN）挑戦を支援する Green Carbon 株式会社
水田のメタンガス削減による J-クレジット創出の方法論において

日本初第1号案件プロジェクトとして認証を取得

- 「稲作コンソーシアム」を通して農業田米の温室効果ガス削減を牽引 -

Green Carbon 株式会社（代表取締役：大北潤、以下 Green Carbon（読み：グリーンカーボン））はこの度、第55回 J-クレジット*1 制度認証委員会において、「水稲栽培における中干し期間の延長」の方法論に取り組む日本初の第1号案件*2として、稲作コンソーシアムによる水田でのメタンガス削減プロジェクトが登録されたことをお知らせします。

今回承認されたプロジェクト（※2）

【水稲栽培における中干し期間の延長】

(ア)プロジェクト名：水稲栽培における中干し期間の延長によるCH4削減プロジェクト
プロジェクト登録者：クボタ大地のいぶき
対象地域：全国

(イ)プロジェクト名：水田の中干し期間の延長によるメタンガスの削減プロジェクト
プロジェクト登録者：Green Carbon株式会社
対象地域：全国

(ウ)プロジェクト名：水稲栽培における中干し期間の延長によるCH4削減事業
プロジェクト登録者：三菱商事株式会社
対象地域：全国



J-クレジット制度 J-CREDIT SCHEME プロジェクト登録証

プロジェクト番号： JCS-PJP00190

プロジェクトの名称

水田の中干し期間の延長によるメタンガスの削減プロジェクト

プロジェクト実施者名

Green Carbon 株式会社

代表者氏名

大北 潤 様

上記プロジェクトについて申請内容を審議した結果、プロジェクト登録要件に適合すると認められるため、J-クレジット制度実施要綱に基づき、J-クレジット制度に登録いたします。

登録申請日：2023年05月26日

J-クレジット制度 制度管理者
経済産業省・環境省・農林水産省

提案概要

中四国地方の農家の
収益源創出・脱炭素化に向けた
カーボン・クレジット創出販売
プラットフォーム

1

方法論やクレジット の計算方法が複雑

方法論 AG-005(ver.1.0) 水稲栽培における中干し期間の延長

EM_{PJ}	プロジェクト実施後排出量	tCO2e/年
-----------	--------------	---------

<排出削減量の算定で考慮すべき温室効果ガス排出活動>

項	排出活動	温室効果ガス	説明
ベースライン 排出量	水稲栽培	CH4	水稲栽培によるメタン排出量
プロジェクト 実施後排出量	水稲栽培(中干し 期間の延長)	CH4	水稲栽培(中干し期間の延長)に よるメタン排出量

3. プロジェクト実施後排出量の算定

$$EM_{PJ} = \sum(A_{PJ} \times EF_{i,j,k,l,m1}) \times \frac{16}{12} \times GWP_{CH4} \times 10^{-3} \quad (\text{式2})$$

記号	定義	単位
EM_{PJ}	プロジェクト実施後排出量	tCO2e/年
A_{PJ}	プロジェクト実施後の水稲作付面積	ha
$EF_{i,j,k,l,m1}$	プロジェクト実施後のCH4排出係数	kgCH4-C/ha/年
16/12	CH4に含まれる炭素重量(kgCH4-C)をCH4重量(kgCH4)に変換するための係数	kgCH4/kgCH4-C
GWP_{CH4}	CH4の地球温暖化係数	tCO2e/tCH4
10^{-3}	単位換算	tCH4kgCH4

2

申請書や手続き書類が 複雑で分かりにくい

4 排出削減計画			
4.1 プログラム型プロジェクトの全体計画(活動数)			
認証対象期間 ※1	～	00年	
年度	新規会員数	累計会員数	
2013年度	件(累計)	0件	
2014年度	件(累計)	0件	
2015年度	件(累計)	0件	
2016年度	件(累計)	0件	
2017年度	件(累計)	0件	
2018年度	件(累計)	0件	
2019年度	件(累計)	0件	
2020年度	件(累計)	0件	
2021年度	件(累計)	0件	
2022年度	件(累計)	0件	
2023年度	件(累計)	0件	
2024年度	件(累計)	0件	
2025年度	件(累計)	0件	
2026年度	件(累計)	0件	
2027年度	件(累計)	0件	
2028年度	件(累計)	0件	
2029年度	件(累計)	0件	
2030年度	件(累計)	0件	
2031年度	件(累計)	0件	
2032年度	件(累計)	0件	
2033年度	件(累計)	0件	
2034年度	件(累計)	0件	
2035年度	件(累計)	0件	
2036年度	件(累計)	0件	
2037年度	件(累計)	0件	
2038年度	件(累計)	0件	
2039年度	件(累計)	0件	
2040年度	件(累計)	0件	
2041年度	件(累計)	0件	
2042年度	件(累計)	0件	
2043年度	件(累計)	0件	
2044年度	件(累計)	0件	
2045年度	件(累計)	0件	
2046年度	件(累計)	0件	
2047年度	件(累計)	0件	
2048年度	件(累計)	0件	
2049年度	件(累計)	0件	
2050年度	件(累計)	0件	

削減活動数

※1 認証対象期間の開始日は当該日付が最も早い会員の日付を、認証対象期間の終了日には当該日付が最も遅い会員の日付をそれぞれ記載し、その期間をプロジェクト全体の認証対象期間とする。その結果として、プロジェクト全体の認証対象期間が6年間を超えても構わない。なお、各会員の認証対象期間は、プロジェクト全体の開始日当日起し又はモニタリングが可能となる予定日のいずれか遅い日から、同日より6年を経過する日までの間で設定すること。

3

申請に向けて散在して いるデータ収集が大変



郡番号	郡名称	市町村名	地区名称	水稲作付面積(ha)	グループ
1	水稲県	稲作市	水稲町第17-38	1.7	1
2	水稲県	稲作市	水稲町第17-40	3.9	1
3	水稲県	稲作市	水稲町第17-41	0.5	1
4	水稲県	稲作市	水稲町第17-42	1.1	1
5	水稲県	稲作市	水稲町第17-43	1.4	1
6	水稲県	稲作市	水稲町第17-44	0.3	1
7	水稲県	稲作市	水稲町第17-45	0.2	2
8	水稲県	稲作市	水稲町第17-46	0.0	2
9	水稲県	稲作市	水稲町第17-47	1.0	2
10	水稲県	稲作市	水稲町第17-48	2.1	2
11	水稲県	稲作市	水稲町第17-49	2.2	3
12	水稲県	稲作市	水稲町第17-50	2.4	3
13	水稲県	稲作市	水稲町第17-51	1.2	3
14	水稲県	稲作市	水稲町第17-52	0.9	3
15	水稲県	稲作市	水稲町第17-53	0.4	1
16	水稲県	稲作市	水稲町第17-54	0.2	1
17	水稲県	稲作市	水稲町第17-55	1.2	1

4

データ管理が煩雑

